

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 3月 1日

公表 令和4年 3月 1日

事業所名 ami plus

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準は満たしていますが理想はもう一部屋あるといいと感じている。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準は満たしています。専門性については今後研修等へ積極的に参加していく等質の向上に努めて参ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	○	段差が多くバリアフリー化はされていない。絵カード等を使い一人一人の発達段階に応じて理解できる方法で伝えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動に合わせて空間を変えている。定期的に換気や消毒を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングにて目標設定と振り返りはできている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを配布している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	○	今後公表を行う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○	現在は行っていない。今後第三者による外部評価を行う予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に一度外部講師による社員スキルアップ研修を行っている(zoom)。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年に一度モニタリングを行い計画を作成している。保護者の方からの情報を得たり幼稚園・保育所での様子や課題を把握し計画に繋げている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自のアセスメントツールを使用している。今後はよりわかりやすいツールに変更していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画に支援目標や支援方法について細かく記載し説明を行っている。今後も見直しを行っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ミーティング等で職員で確認を行い個別支援計画に沿った支援の確認を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日ミーティングを行っている。月案等を職員で確認を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ運動内容にならないようにプログラムを組んでいる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		運動・活動は集団活動を意識したものになっている。内容によっては個別に活動をしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを実施し活動内容等を確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日支援終了後に振り返りを行い職員間で共有している。その日の活動記録にも全員目を通している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動記録表・日報・ミーティングノートで記録している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度モニタリングを実施している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		電話や書面での会議を行っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		機会は少ないが以前よりは連携できている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		対象児童がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		対象児童がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			情報共有できている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後機会を設けていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		他事業所へ見学に行かせて頂いたがコロナウィルス流行後行けていない。今後機会を増やしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保護者の方を通じて連携はとっているが交流はない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			担当職員が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時に日々の様子を伝えている。活動記録表や連絡ノートでのやり取りを行っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		プログラムは組んでいない。必要に応じてお子さんとの関わりについて助言を行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に実施している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			実施している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談等の体制をとっている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		実施予定だったがコロナウィルスの為実施できていない。今後機会を設ける。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談内容に応じて適任者が対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			事前に口頭で伝え手紙も配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			鍵つきの車庫にて厳重に保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			一人一人の特性に合わせて対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			職員は周知しているが保護者に対しては周知できていない。マニュアルも改善していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に二回実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			体験や見学时アンケートに記入している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		体験や見学时アンケートに記入している。親御さんからの指示書は頂いている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			記録に残し職員間で共有し解決に向けて話し合いを行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年に一回実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			今後やむを得ず身体拘束を行う児童に対して同意書を作成し保護者に説明を行い了承を得た上で計画書に記載していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 令和4年 3月 1日

アンケート期間:令和 3年 2月 1日～令和 3年 2月 28日

事業所名 : ami plus

保護者等数(児童数 )3名 3名未提出

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	0	0	0		児童が怪我をしないようにしっかりと環境に注意を払い環境作りをしている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	0	0		契約時にしっかりと職員の配置・人数の確保内容は伝えている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	0	0		体験時や送迎の時間に説明を行っている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	0	0		室内は清潔に保ち気持ちよく子供が過ごせるようにしている。また療育時個人にあった環境を確保している
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	0	0	0		計画書・モニタリング前にしっかりと保護者と話をし一緒に計画を立てていく。一つ一つ確実に目標が達成できるように計画の提案を行っている
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	0	0		細かく支援計画が立てられるように保護者として子供について話をし計画を細かく立てていく
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	0		子供の様子をしっかりと観察しながら成長や支援を職員間で共有している
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	0		引き続き楽しい時間を過ごす中で子供の成長段階を踏まえ出来ない事が少しずつできるようになり自信が持てるように内容を考えながら療育を行う
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	2	0		今後交流持てるように計画を立てていく
保護者 への説	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	0	0		契約時にしっかりと伝え請求時にもわからない所はわかりやすく対応している
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3	0	0	0		説明時間をとりながら保護者と一緒には計画をたてられるようにしている。原本を見ながらモニタリングの内容も含め説明している
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	0	2	1	0		活動記録や送迎時に今している事や家での対応を聞き療育方法を伝えている。保護者がしんどくなっていないかしっかりと話をしいつでもしんどさや困り感を話してもらえよう環境を作る
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3	0	0	0		来所時に子供の健康状態を確認し一つ一つの発達について保護者の方に確認を行いながら並行して療育が行えるようしっかりと連携をとる。活動記録にもしっかりと記載する
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	0	送迎時に伝えてもらっています。	送迎時や面談の時間を確保しながらしっかりと支援している

明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	2	0	コロナウイルス感染症が落ち着いたら実施してほしい。	コロナウイルスの為実施していない。今後は行っていく
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	0		引き続き相談や質問にお答えしていきながらどんな問いにも答えられるようにしっかりと勉強を行っていく。悩みに対して素早く対応できるように引き出しもしっかり作っておく
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	0	0		引き続き活動記録に記入し送迎時の子供の事だけではなく保護者の様子もしっかりと見ていく
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1	1	0		HPの切り替えを行っている。今後は子供達の様子や活動内容・支援方法を記載していく
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3	0	0	0		鍵つきの車庫にて厳重に保管している
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	2	0	0		契約時に緊急・防犯・感染症に対するマニュアルの説明を行い定期的に職員間で訓練を行っている
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	3	0	0		今後は児童を含めた訓練を実施する
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3	0	0	0		引き続き楽しみに感じる環境をしっかりと作る
	23	事業所の支援に満足しているか	3	0	0	0		利用時間いっぱい楽しく活動できるよう活動内容が固定化しないように支援を行っていく

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。 ※未提出 3名